

第二次鴉片戰爭

戰迹述論

施玉森 著





編 著 者 略 歴

1924年 台湾台中に生まれる
1943年 来日，NTT勤務
1953年 東京工業大学卒業，No. 6105
1960年 NEW CYON商事，雛忠会館代表
著 書 写真集『中国佛教四大聖山』（1991年刊）
写真集『西アジア5000キロ』（1992年刊）
写真集『水師提督施琅將軍史蹟』（1993年刊）
写真集『鴉片戦争一戦述論一』（1996年刊）
写真集『第二次鴉片戦争一戦述論一』（1997年刊）
現在、日清戦争について調査、執筆中

第二次鴉片戦争 戦迹述論

編輯：有限会社タカプロ
印刷：三協美術印刷株式会社

1997年5月吉日 発行



著 者：施 玉 森

発行所：雛忠会館出版

日本東京都新宿区新宿3-25-9

電話 03-3352-5866 FAX 03-3352-9856/03-3200-2032

事務所

日本東京都渋谷区元代々木町17-1

電話 03-3466-8966

本体価格8,000円

第二次鴉片戰爭

戰迹述論

施玉森著

維忠會館出版

前言

在第一次鸦片战争中，英国侵略者用舰炮轰开了中国古老的大门，逼迫清政府签订了不平等条约。19世纪50年代，随着资本主义的发展，英国资产阶级力图进一步扩大在华的侵略权益。其时，清政权日趋腐朽，各地人民的反抗斗争此起彼伏，到50年代初，形成了规模巨大的太平天国起义。1853年，太平天国建都南京，与清朝的北京政权分庭抗礼、南北对峙。这给予清政府非常沉重的打击。英国侵略者认为这是迫使政府同意修约的有利时机，因此，他们首先进行修约讹诈，希望清政府能接受其提出的各项无理要求。但是，清政府还不愿意轻易地答应英国侵略者的要求。英国侵略者见软的一手行不通，就决定采用硬的一手，准备用武力迫使清政府同意修约。于是，他们千方百计地寻找战争借口。在此期间，1853年10月，克里米亚战争爆发，英、法先后在黑海、波罗的海沿岸和克里米亚半岛同沙俄作战，暂时不能把兵力投向东方。1856年2月，英、法战胜沙俄，克里米亚战争结束。英国侵略者便腾出手来，把枪口又对准中国，战争已是难于避免。“亚罗”号船事件，就是英国侵略者为发动战争而一手制造出来的。

“亚罗”号船是1854年由中国人苏亚成建造的一条船，从事福建等地货物的海上运输。船主为寻求香港殖民当局的保护，就花了不少银两在香港买了牌照，并雇了一名叫“亚罗”的英国人，这样，就可以放手走私谋利了。1855年，这艘船卖给了另一位中国人方亚明。方亚明雇用英国人托·肯尼迪为船长，水手全都是中国人，又在香港领取牌照。此船与海盗相勾结，专事贩卖鸦片和抢劫。

1856年10月8日，“亚罗”号船停泊在黄埔港上，广州水师营千总梁国定接到报告，说船上窝藏有土匪和鸦片，便带领40余名官兵上船搜查，并把12名水手带回审讯。这本来是中国的内部事务，外国人无权干涉。可是蓄意挑起战争的英国驻广州领事巴夏礼，却胡说什么中国士兵无权到受英国保护的船上抓人，还诬称中国士兵扯下船上的英国国旗，是对英国侮辱等等。其实，“亚罗”号船向港英当局领取的牌照已经过期失效，所以，当时船上也没有悬挂英国旗。这样，中国士兵怎么可能去扯下什么英国旗呢？“亚罗”号船

纯属中国船，怎么能说它是受英国保护的呢？巴夏礼不顾事实，信口雌黄，其险恶用心昭然若揭。巴夏礼提出由梁国定亲自送还水手并赔礼道歉的蛮横要求，理所当然地遭到两广总督叶名琛的拒绝。英国侵略者终于找到了发动新的侵华战争的借口了。

第二次鸦片战争，从1856年（咸丰六年）10月，英军发动突然进攻，占领广州城以南珠江沿岸炮台开始，到1860年（咸丰十年）10月下旬，清政府的全权代表恭亲王奕訢在侵略者大炮的威逼下，在北京与英、法交换《天津条约》批准书并签订《北京条约》时止，历时4年。在这次战争中，英、法侵略军犯下了新的罪行，他们大肆屠杀北塘地区的无辜居民；所过之处，烧杀抢掠，从天津到北京沿路的村镇，都被洗劫一空；他们抢去了万国园——圆明园里的无数文物、珍宝，拿不走的，还加以毁坏，最后他们还放火烧毁这座凝集了中国人民难以数计的人力和物力的艺术宝殿。这些丧尽天良、狗肺狼心的侵略者对中国人民犯下了永远不能宽恕的罪行！

在这次战争中，尽管中国的不少爱国官兵奋起御侮，浴血奋战，涌现出史荣椿、龙汝元、乐善等可歌可泣的爱国将士；各地人民群众也开展了各种形式的反抗斗争，给侵略者予沉重的打击。但由于种种原因，中国在这次战争中仍遭到失败。

第二次鸦片战争给后人留下许多教训和启示，总结这些教训和启示，有利于推进今天在中国开展的爱国主义教育。所以，我在亲自著述并自费出版第一次鸦片战争的摄影集——《鸦片战争——战迹述评》（东京，维忠会馆出版部，1996年出版）后，又继续著述并自费出版这部第二次鸦片战争的摄影集——《第二次鸦片战争——战迹述评》，以进一步揭露英、法侵略者的罪行，尤其是指出毒品鸦片在近代中国泛滥的严重危害；歌颂中国的爱国将士和人民群众不畏强暴的英勇斗争精神。使中国人民，尤其是年青人不忘中华民族的耻辱史，艰苦奋斗，努力学习和工作，把中国建设得更加富强，争取在国际上享有更加崇高的地位。惟有如此，才能对得起为抵御外敌而血洒沙场的先烈，也才能对得起我们的后代子孙！

施 玉 森

まえがき

第一次阿片戦争とは、英国が艦砲で保守的な中国に対し、その“大門”を開かせ、威迫して『南京条約』など一連の不平等条約を締結させ、その結果香港を強行占領し阿片貿易の基地とした戦争であった。

19世紀中頃、英国の資本主義経済の発展と同時に資産階級は在中国権益のより一層の拡大を図った。一方、中国国内では各地に人民の反抗闘争がおこり、それらの中でも太平天国起義が大規模に形成されていた。1853年、彼らは南京に政府を置き、当時、内部腐敗が進行していた清朝の北京政府と対峙する形となり、北京政府はますます窮地に陥っていた。

英国侵略者はこうした中国国内情勢を見て、条約修正（換約）の好機と判断、難題を清朝政府に押しつけ条約修正を迫った。清朝政府がこれを拒否すると、英国侵略者は、武力を用いた強行手段に転じ、様々な計略（借口）を構じ始める。

折しも1853年10月、クリミア戦争が勃発、英国、仏国は前後して露国と戦闘状態に突入する。そのため英国はしばらくの間、東方に兵力を傾けることが出来なかった。1856年2月、英仏軍が露国に戦勝し、クリミア戦争が終結すると、英国侵略者はただちにその銃口を中国に向け始めたのである。世に知られる黃埔港内で発生したアロー号事件は、英国侵略者が着々と戦争準備を始めたその第一歩であり、戦争開始の契機を作るものに他ならなかった。

アロー号は1854年、蘇重成が建造した海上用の貨物船であった。船主は香港当局の被護を受けるため英国人アローを雇い入れ、密貿易で儲けていた。翌年、船体は方阿明なる者に売却され、方阿明は英国人船長を雇い、中国人船員には香港ビザを取得させ、海賊と結託して阿片売買を行っていた。

1856年10月8日、アロー号が黃埔港に停泊しているとの報告を受けた清朝水師營千総梁国定は、40名の官兵を派遣し、船に隠匿していた土匪と阿片を押収、12名の船員も連行した。この事件は本来、外国人の干渉出来るものではなかった。しかし、廣州駐在の英国領事パシャリー（巴夏礼）は、この事件を開戦理由に利用したのである。パシャリー領事は、「中国官兵は英国の保護下にある船員を連行した。また船上で英国国旗を降ろさせたことは英国を侮辱した」と主張。

これに対し中国当局は「アロー号船員の香港ビザは

期限切れで失効している。また同船には英国国旗は掲げられておらず、中国官兵が英国国旗を降ろせ得たはずがない。そしてアロー号は中国に属した船で英国の保護下にはない」と反論した。しかし、パシャリー領事は真実を認めず、傲然と「水師營梁国定自身が謝罪し、船員を返還すること、さらに賠償金を支払うこと」を要求したのである。当然ながら中国水師提督葉名琛はこれを拒絶した。こうした経過は英国侵略者に新たな戦争拡大への口実を与えた。

第二次阿片戦争は1856年10月、英国軍艦が突然、廣州城（海珠砲台）を占領したことに始まる。そして英国をはじめ仏国などの軍隊が、天津、北京等で略奪と暴虐行為を働いた末、1860年10月下旬、清朝政府の全権代表恭親王奕訢が英仏侵略軍の威圧の下に、北京で『天津条約』を批准交換し『北京条約』に調印させられたことで一応の終結をみる。

この間4年、英仏連合侵略軍の犯罪行為は史上最悪の惨憺さであった。彼らが上陸した天津東郊の海岸・北塘地区では、住民を屠殺し略奪した上、民家を焼き払う暴虐を行ない、北京までの侵略途上では各村落で暴行略奪の限りを尽くした。殊に北京近郊の円明園からの略奪はすさまじいものだった。持ち出せる限りの国宝文物を持ち出し、持ち出せぬものは破壊し、最後には放火烧却し証拠隠滅を計る徹底ぶりであった。何とすさまじい“英国海賊紳士魂”であろうか！

第二次阿片戦争中、少なからずの愛国官民が反抗奮戦した。史榮椿、竜汝元、樂善などは愛国将士であった。また円明園の武官であった宦官任青も国宝文物を守護するために奮戦した。各地で地の利を得てよく戦った人民群眾の反抗闘争は侵略者にそれ相応の打撃を与えた。この度の阿片戦争での敗北は幾多の原因と重なって清朝政府の崩壊を早めたと同時に、中国人民に多くの教訓と啓示を残した。たとえば露国の恒久的欲望である領土拡張欲に常時留意すべきこと。美名のもとに様々な侵略行為を行う国際社会へ目を向け注意をおこたぬこと等々である。こうした教訓は必ずや今に活かされていることであろう。筆者はここに本書を呈し、若き青年諸氏が中国民族の屈辱史を忘れず、国際社会において崇高なる国家社会を築いてゆくことを祈念すると共に、確信するものである。

施 玉森

目次

前言 2

 ■第二次鸦片战争形势图 5

 亚罗号事件的海, 珠江、黄埔港 6

 英法联军广州进攻地 10

 广东人民的抗战 16

 石井社学道津马头战趾 18

 牛栏岗, 镇海楼的人民抗战 22

 ■广州之战 26

 英法联军大沽口进攻地 28

 北岸主炮台, 土炮台遗址 30

 北岸石头缝炮台遗址 32

 南岸右炮台遗址 34

 南岸主炮台遗址 38

 南岸左炮台遗址 40

 北塘八一炮台遗址 44

 北塘大营炮台遗址 48

 军粮城, 北塘右营炮台遗址 50

 塘沽镇 50

 ■《天津条约》与三次大沽口之战 52

 天津市内旧趾 56

 南门大街海光寺的周边 60

 天津旧租界的现状 62

 英法联军进攻的路, 北运河 66

 武清, 河西务, 安平 68

 张家湾之战 70

 通州之战 72

 壮烈! 八里桥之战 74

 北京安定门之战 76

 恭王府, 华园 78

 热河避暑山庄 80

 英法联军入侵略夺香山, 碧云寺等 82

 英法联军入侵略夺颐和园 84

 英法联军放火略夺圆明园 86

 圆明园的历史资料 90

 ■从通州谈判到《北京条约》的签订 92

 战争博物馆的第二次鸦片战争历史资料 96

 ■第一次鸦片战争大事年表 102

 ■第二次鸦片战争大事年表 103

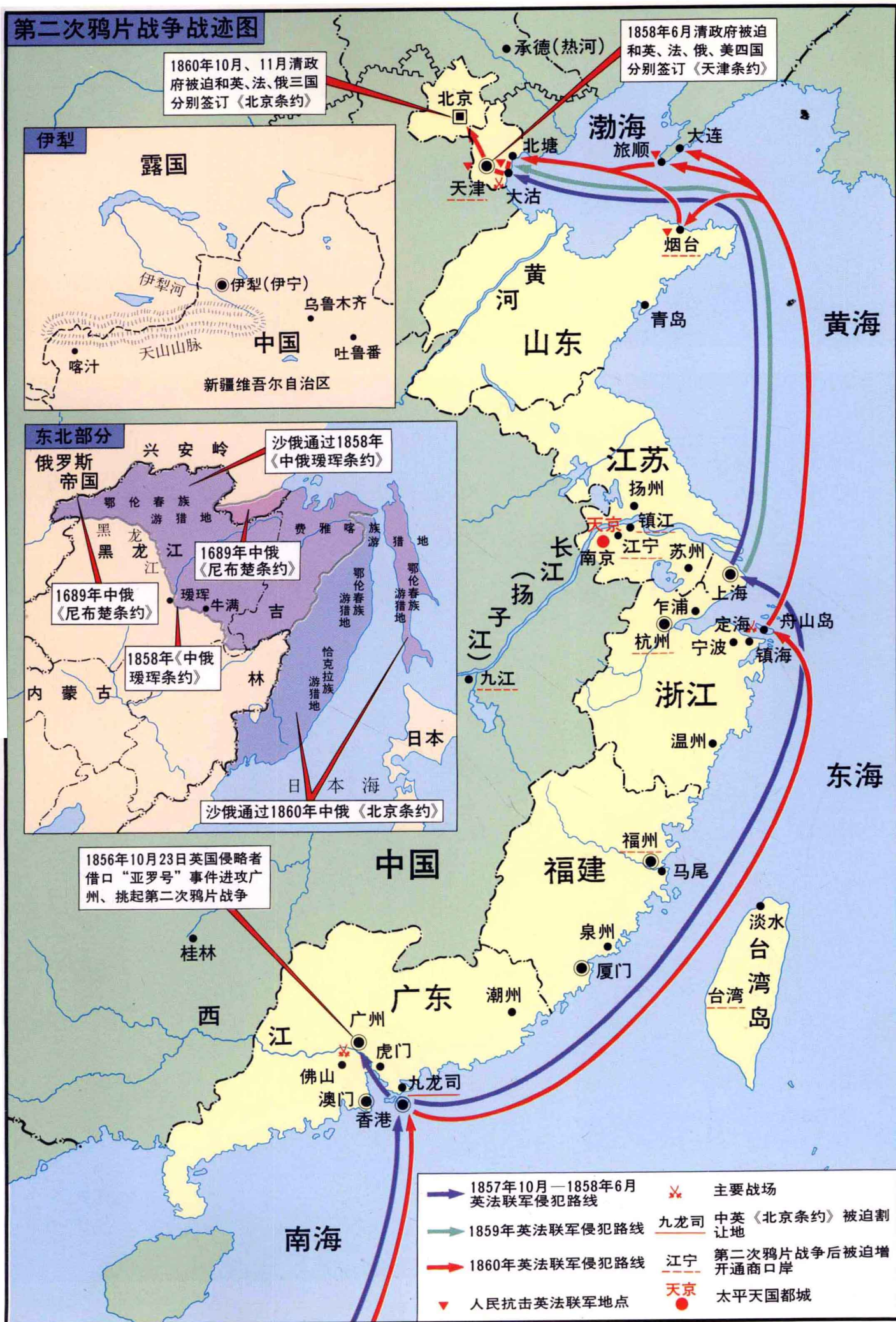
 ○ ○

战迹述论 第二次鸦片战争 105

 ■参考书目录 153

后记 154

第二次鸦片战争战迹图



亚罗号事件的海，珠江、黄

黄埔港是广州市外港，在广州市东南、珠江北岸。可泊远洋海轮，是中国南方对外贸易和沿海运输的重要港口。这是黄埔港上的海军码头。

黄埔港。広州市東南の珠江北岸にある。対外貿易港で、遠洋・沿海運輸の重要港である。第二次阿片戦争の発端となった“アロー号事件”はこの黄埔港内で発生した。



黄埔港上的东堤码头。黄埔港の東堤埠頭。

埔 港



第二次鸦片战争前夕黄埔港上
“亚罗”号船停泊处。

第二次阿片戦争の発端となった“ア
ロ一号”が停泊していた黄埔港。





黄埔港长洲岛白兔岗炮台，在第二次鸦片战争中曾抗击英、法侵略者。白兔岗炮台位于珠江西南，朝向东北，在黄埔军校旧址。炮座高约1.5米，有2个兵室、1个弹药库。现存有炮座和弹药库。

第二次阿片戦争の時、英仏連合軍によって攻撃破壊された長洲島白兎崗砲台。珠江南岸の黄埔軍官学校旧址内にある。現存する砲座は高さ1.5m、露天式と隠蔽式があり、他に弾薬庫、兵舎を備えていた。



白兔岡砲台的部分建筑。全部属土覆
隐蔽形制。

白兔岡砲台的部分。この砲台は土中に埋
められた隐蔽式であった。



英法联军广州进攻地



二沙岛 珠江中的小屿。位于旧广州城的东南。第二次鸦片战争时英、法侵略军从这里登陆进攻广州城。桥为二沙桥。

珠江東流の北側にある二沙島は、広州城の東南に位置し、第二次阿片戦争当時、英仏連合軍がここより上陸し広州城を東と北から攻めた。



二沙岛周边部分河段。二沙尾周边部。右侧は高速道路，左侧は遊歩道になっている。



二沙尾周边部分河段。岛边建筑是广东体育馆。二沙島西端にある広東体育館。



大沙头 珠江中的小屿。与二沙头相邻。这是大沙头客运站及其附近的建筑。二沙島と橋で結ばれた大沙頭珠江北岸の客船埠頭。



东定炮台旧址 东定炮台亦称东水炮台、东炮台。位于旧广州城东南、珠江岸边，在今广州市白云路和广九大马路交界处。清代此处为海印石，而今已与大陆连成一片。这是旧址之今日景象。

東砲台旧址。広州城東南の珠江北岸にあり、広州市白雲路と大沙頭路の交差点付近に当り、古名は海印石という地名であった。

珠江上现代化的海印大桥。廣州體育館へ行く橋から見た吊り橋式海印大橋。





从侧面观看的海珠炮台旧址，
现在是海珠广场。
側面から見た海珠砲台旧址と海
珠大橋の袂。かつては広州城南
門であった。

海珠炮台旧址上的大桥。
海珠炮台旧址へ渡る大橋。



海珠炮台旧址 位于旧广州城南
门外。在第二次鸦片战争中被英、
法侵略军所攻占。这是俯视下的
旧址之今日景象。
海珠砲台の跡地。広州城南門で、現
在は海珠広場になっている。





旧广州城东郊 在第二次鸦片战争中清军千总邓安邦曾率领东莞团练 1000 多人，在此与英法侵略军激战。此地今属广州市中山路。
城内から見た旧広州城東門。第二次阿片戦争当時、この城門を中心に中山路上で清軍將鄧安邦が東莞団練人民1000余名を率いて英仏侵略軍と激戦を交えた。

在旧广州城东门旧址，今建有东门桥。此为桥下小河。

広州城東門旧址には高速道路橋が通り、下部は歩道橋、その下に小川が流れている。



东门桥东面之今日景象。東門歩道橋から城外東方面の眺望。





総督府門柱より奥へ進み、その右側の路面に「都府街」の石刻板がはめこまれ、その奥の住宅の壁には当時の配置図がレリーフにされてはめ込まれている。



清两广总督府旧址，今只剩下大门两边的石柱。现为广东省民政厅所在地。门前为繁荣的街道。
第二次阿片战争当時の両広総督府門旧址。現在は門柱と大木だけが残り、門内は省民政庁で、付近は繁華街となっている。

